

『とりもどせ元気！』

令和3年度当初予算案の概要

令和3年2月16日
福岡市財政局



目 次

I 政策の推進	・ ・ ・ 1
1 「安全・安心」な環境づくりと「未来」を育むチャレンジ	
2 「経済の元気」と「新しい時代」を創るチャレンジ	
3 「都市」と「自然」が調和したまちづくりにチャレンジ	
II 将来にわたり持続可能な財政運営の推進	・ ・ ・ 10
1 財源の確保	
2 アセットマネジメントの推進	
3 財政調整基金の活用と残高の確保	
4 市債残高の状況	
III 予算案の姿（概要）	・ ・ ・ 17

I 政策の推進

『とりもどせ元気！』

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、市民生活はもとより地域経済が大きな影響を受けている中、「とりもどせ元気」をスローガンに、3年度当初予算を2年度2月補正予算と一体的に編成し、コロナ禍における感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた取組みを強力に推し進める
- 新たな時代への変革期にあってこそ「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を踏まえ、真に必要な施策・事業を積極的に推進し、福岡市一体となって、経済的な成長と安全・安心で質の高い暮らしのバランスが取れた持続可能なまちづくりを進める

1 「安全・安心」な環境づくりと「未来」を育むチャレンジ

⇒ 新型コロナウイルス感染症対応、子ども医療費（通院拡大）、プレコンセプションケア推進事業、不妊治療費助成拡充、学生への特別給付金、GIGAスクールの推進、スクールカウンセラーの増員、重度障がい者入浴サービス

2 「経済の元気」と「新しい時代」を創るチャレンジ

⇒ 公共事業による地域経済の下支え、コロナ禍における中小企業・飲食店・宿泊施設・商店街・エンターテインメント分野等への支援、行政のDX推進、公民館Wi-Fi環境整備事業、国際金融機能誘致の推進、音楽都市振興事業

3 「都市」と「自然」が調和したまちづくりにチャレンジ

⇒ Fukuoka Smart EAST、天神ビッグバン、Fukuoka East & West Coast プロジェクト、油山市民の森等リニューアル事業、脱炭素社会へのチャレンジ、災害に強いまちづくり、アグリDXプロジェクト、鮮魚市場の機能更新・向上事業、早良南地域交流センター整備事業

新型
コロナ
ウイルス
感染症
対策

新型コロナウイルス感染症対策関連

・ 総額 約2,800億円 (うち補正 約212億円) ▶▶▶ 1兆965億円 (14ヵ月予算) の **約25%**

※計数は、14ヵ月予算 (2年度2月補正予算、及び3年度予算)

★新規 ☆拡充

○ 検査・医療提供体制の充実 約149億円 (うち補正 約149億円)

- ★新型コロナウイルスワクチン接種【95.0億円 (補正)】
- ・ 医療機関への特別給付金【2.7億円 (補正)】
- ・ 新型コロナウイルス感染者等支援体制確保事業【0.1億円 (補正)】
- ・ 地域外来・検査センターの運営【4.4億円 (補正)】
- ・ 医療・介護施設等従事者PCR検査事業【12.4億円 (補正)】
- ・ 感染流行地域関係者等へのPCR検査事業【0.8億円 (補正)】
- ・ 新型コロナウイルス高齢者PCR検査助成事業【1.9億円 (補正)】
- ・ 妊婦へのPCR検査【0.6億円 (補正)】
- ・ 新型コロナウイルス入院医療費等公費負担【16.3億円 (補正)】
- ☆健康観察等フォローアップ事業【0.7億円 (補正)】
- ・ 相談体制強化事業【4.0億円 (補正)】 など

○ 事業者の支援 約2,574億円 (うち補正 約33億円)

- ★感染症対応シティ促進事業【17.4億円 (補正)】
- ☆商工金融資金預託金【2,482億円】
- ・ 中小企業等のオンライン採用・就職活動支援事業【0.1億円 (補正)】
- ★中小企業等のDX促進モデル事業【0.8億円 (補正)】
- ★全市版プレミアム付商品券事業【3.9億円 (補正)】
- ☆商店街プレミアム付商品券事業【3.2億円 (補正)】
- ★次世代商店街支援事業【0.2億円 (補正)】
- ★宿泊施設の高付加価値化等支援事業【2.8億円 (補正)】
- ★漁業者緊急支援事業【0.2億円 (補正)】
- ★花き農家緊急支援事業【0.1億円 (補正)】
- ・ 障がい福祉分野のICT・ロボット等導入支援事業【0.6億円 (補正)】 など

○ 市民生活の支援 約58億円 (うち補正 約30億円)

- | | | |
|---------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| ★学生への特別給付金【9.8億円 (補正)】 | ☆GIGAスクールの推進【11.6億円 (うち補正 1.4億円)】 | ☆行政のDX推進 (0.9億円) |
| ★感染症対策等代替保育サポート事業 (0.1億円) | ☆オンライン学習の支援 (3.8億円) | ★公民館Wi-Fi環境整備事業【0.5億円 (補正)】 |
| ★母子保健オンライン相談等事業 (0.1億円) | ★高齢者や障がい者、子どもが利用する市有施設の | ★地域のデジタル化支援事業 (0.1億円) |
| ☆スクールカウンセラー等活用事業 (4.6億円) | 手洗い水栓の非接触化等【12.8億円 (補正)】 | ★宅配ボックス普及促進事業【1.4億円 (補正)】 など |

○ 新型コロナウイルス感染症対策予備費 20億円

地域経済対策

☆ 商工金融資金の融資枠の拡充

- ・ 現下の厳しい経済状況に対応するため、**過去最大規模**の融資枠を確保

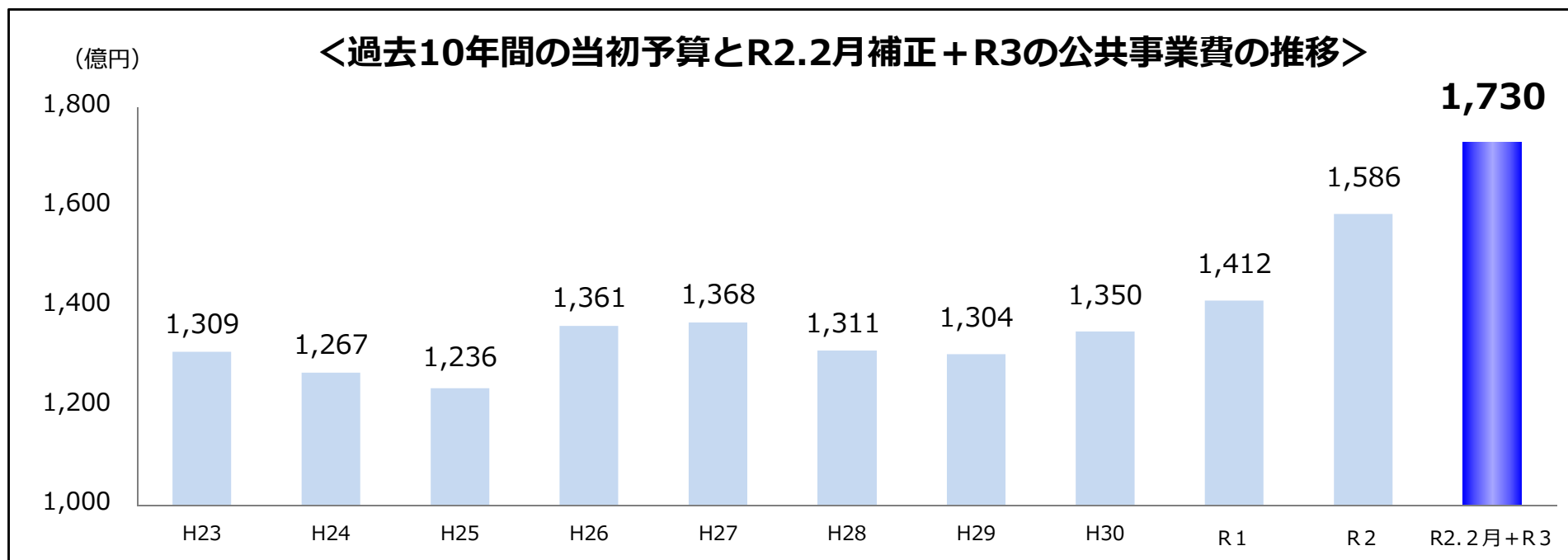
(単位：億円)

	H28年度	H29年度	H30年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
預託金（当初予算）	889	803	742	728	702	2,482
前年度比（増減額）		▲ 86	▲ 61	▲ 14	▲ 26	1,780
融資枠	2,797	2,462	2,032	1,665	1,732	5,854

※融資枠は、市の預託金に金融機関の協調融資額を加えた額

☆ 公共事業費の確保

- ・ 地域経済を下支えするため、2 年度 2 月補正と 3 年度当初の14ヵ月予算で、**近年で最大規模**の公共事業費を確保



※公共事業費は、一般会計と特別会計の普通建設事業費に企業会計の建設改良費を加えた額

※令和2年度2月補正予算案については、(補正)もしくは(うち補正)と記載

★:新規 ☆:拡充 (単位:千円)

新型コロナウイルス感染症への対応

- ★新型コロナウイルスワクチン接種【9,502,732(補正)】(保福)
市民を対象に新型コロナウイルスワクチン接種を実施
- ・医療機関への特別給付金【270,060(補正)】(保福)
新型コロナウイルス感染症の最前線に対応している
医療従事者の方々に対する支援を実施
- ・新型コロナウイルス感染者等支援体制確保事業【12,750(補正)】(保福)
新型コロナウイルス感染症等の介護を行った介護施設等の従事者に対する
支援を実施
- ・地域外来・検査センターの運営【441,086(補正)】(保福)
市内6箇所の地域外来・検査センター(天神サテライト含む)の運営
- ・医療・介護施設等従事者PCR検査事業【1,244,333(補正)】(保福)
医療・介護施設等の従事者を対象に、PCR検査を無償で実施
- ・感染流行地域関係者等へのPCR検査【75,234(補正)】(保福)
感染者が多発している地域の関係者等を対象に、PCR検査を無償で実施
- ・新型コロナウイルス高齢者PCR検査助成事業【186,748(補正)】(保福)
高齢者が本人の希望によりPCR検査を行う場合の費用を一部助成
- ・妊婦へのPCR検査【62,455(補正)】(こども)
分娩前の妊婦がPCR検査を希望する場合に、検査費用を助成
- ・新型コロナウイルス入院医療費等公費負担【1,631,967(補正)】(保福)
入院医療及び保険適用の検査に係る自己負担相当額の公費負担
- ☆健康観察等フォローアップ事業【68,545(補正)】(保福)
帰国者等の健康観察及び自宅待機者へのパルスオキシメーターや食料品などの
配布による生活支援や、民間企業と連携した健康観察の実施
- ・相談体制強化事業【399,319(補正)】(保福)
新型コロナウイルス感染症相談ダイヤルの運営及び保健所への専門職派遣
- ★市有施設の手洗い水栓の非接触化等【1,282,926(補正)】(各所管局)
高齢者や障がい者、子どもが利用する市有施設の手洗い水栓の非接触化等
- ★感染症対策等代替保育サポート事業【5,049】(こども)
感染症等により休園となった保育施設等を利用する方に、代替保育として
訪問型保育サービスの利用費用の一部を助成



すべての子どもの未来を育む

少子化対策の充実

- ★プレコンセプションケア推進事業【36,339】(こども)
将来の妊娠も含めライフプランを考えるきっかけとなる
医療機関での検査及び説明にかかる費用を助成
- ☆一般不妊治療費助成事業【24,842】(こども)
所得制限の撤廃及び事実婚の夫婦を対象に追加
- ☆特定不妊治療費助成事業【638,734(補正)】(こども)
所得制限の撤廃、助成額・助成回数が増、事実婚の夫婦を対象に追加
- ☆不育症検査費・治療費助成事業【2,772】(こども)
所得制限の撤廃及び事実婚の夫婦を対象に追加



子育て世帯支援の充実

- ☆子ども医療費(通院拡大)【776,273】(保福)
令和3年7月から通院助成対象を中学生まで拡大し、3歳から中学生
までの自己負担額を1医療機関1月あたり一律500円までに軽減
- ★母子保健オンライン相談等事業【4,997】(こども)
保健師等の家庭訪問や親子教室等のセミナーの一部を、オンラインで実施
- ★子ども家庭支援センター【9,853】(こども)
要支援家庭への相談・支援機能の強化のため、子ども家庭支援センターを増設
- ★支援対象児童等見守り強化事業【16,335】(こども)
虐待のリスクを抱える家庭を訪問し、食事提供、生活指導等による見守りを実施
- ☆子どもの食と居場所づくり支援事業【5,377】(こども)
子どもたちへの食事の提供と居場所づくりを行う民間団体の活動に対する助成
- ★生活困窮にある子育て世帯に対する行政サービス利用料減免【203】(こども)
経済的に厳しい状況に置かれた子育て世帯の環境の改善を図るため、
行政サービス利用料の一部を減免
- ☆ひとり親家庭自立支援給付金事業【144,348】(こども)
就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親への給付金について、
対象資格を拡大



教育環境の充実

- ★学生への特別給付金【975,000(補正)】(こども)
市内に居住し、本人や保護者が住民税非課税等である大学・短大・専門学校等の学生に対して5万円を給付
- ☆GIGAスクールの推進【1,156,372(うち補正 136,813)】(教委)
児童生徒1人1台端末の運用・管理、ICT支援員、ヘルプデスクの設置等
- ☆オンライン学習の支援【377,595】(教委)
インターネット環境がない家庭へ貸し出すモバイルルータ等を整備
- ★ジョイントクラス事業【8,644(補正)】(教委)
教育の質の向上及び教員の負担軽減のため、離島の玄界・小呂小中学校と連携校をオンラインでつなぎ、合同授業を実施
- ★教職員のICT指導力向上研修【5,060】(教委)
教職員のICT指導力向上を図る研修の実施等
- ☆スクールカウンセラー等活用事業【462,852】(教委)
児童生徒等へのカウンセリングの充実を図るため、スクールカウンセラーを増員
- ☆スクールソーシャルワーカー活用事業【274,563】(教委)
スクールソーシャルワーカーを増員し、全中学校区・高校・特別支援学校に配置
- ・SNSを活用した教育相談体制構築事業【18,252】(教委)
児童生徒の様々な悩みに対応するため、SNSを活用した教育相談を実施
- ☆小・中学校における医療的ケア支援【65,511】(教委)
医療的ケア支援体制を充実させるため、小・中学校の学校看護師を増員
- ☆学校生活支援事業【353,808】(教委)
配慮を要する児童生徒への支援を充実させるため、学校生活支援員を増員
- ★特別支援学校高等部の新設【84,677】(教委)
就労支援に特化した特別支援学校(知的障がい)高等部の2校新設に向けた実施設計等
- ☆校舎及び附帯施設等整備【7,597,514(うち補正 3,747,344)】(教委)
内外壁の改修、トイレの洋式化・乾式化等
- ☆特別教室空調整備【693,417(うち補正 674,306)】(教委)
小・中学校特別教室空調整備事業のPFI事業者選定及び設計・施工
- ★公立夜間中学調査経費【1,053】(教委)
公立夜間中学のニーズを把握するため、調査を実施



誰もが安心して暮らしやすいまちへ

障がいのある方が暮らしやすいまち

- ☆重度障がい者入浴サービス(利用回数拡大)【17,847】(保福)
家庭での入浴が困難な重度身体障がい者の健康保持と保健衛生向上のため移動入浴車を派遣
- ★重度障がい者等就労支援事業【12,745】(保福)
重度障がい者等の雇用促進のため、通勤や職場等における支援を実施
- ☆南部療育環境整備事業【22,926】(こども)
障がい児に関する相談・診断機能強化等に対応するため整備する南部療育センター(仮称)の基本設計
- ★若者の相談支援体制強化【1,459】(こども)
若者支援団体のネットワーク構築のほか、子ども・若者支援地域協議会再編や総合的な相談機関設置への準備
- ★ミドル世代就職支援事業【9,140】(経観文)
就労相談窓口にミドル世代専用の相談窓口を設置し、就労支援を実施
- ★外国人支援ボランティアバンク【4,532】(総企)
ボランティアによるきめ細やかな個別支援や災害ボランティアの育成などを実施
- ・一人一花運動事業【114,393】(住都)
花による共創のまちづくりとして、市民や企業一人ひとりが花や緑を育てる取組みを支援
- ☆繁華街対策事業【26,433】(市民)
防犯カメラを活用した指導員による巡回指導や、AIを活用した悪質な客引き対策のための実証実験を実施



「福岡100」の推進～人生100年時代に向けて～

- ☆Fitness Cityプロジェクト【24,000】(保福)
「住むだけで健康になるまちづくり」に向け、楽しく体を動かしたくなる環境づくりや仕組みの検討
- ★オーラルケア28(にいはち)プロジェクト【28,568】(保福)
治療よりも予防に重点をおいた、エビデンスに基づく全世代の歯と口腔の健康を守るプロジェクトを実施
- ・健康先進都市推進経費【26,618】(保福)
産学官民連携による福岡ヘルス・ラボやケアテック・ベンチャー支援等を実施



※令和2年度2月補正予算案については、(補正)もしくは(うち補正)と記載

★:新規 ☆:拡充 (単位:千円)

公共事業による地域経済の下支え

公共事業費 約1,730億円(近年で最大規模)を確保

- ・生活道路等の整備・大規模修繕【4,596,468(うち補正 590,747)】(道下)
市民に身近な社会基盤である生活道路の整備等
- ☆交通安全施設等整備【3,586,311(うち補正 889,000)】(道下)
交通事故の防止や低減を図るための歩道整備、交差点改良等
- ☆道路のバリアフリー化【2,162,100(うち補正 290,500)】(道下)
歩道の段差解消、無電柱化などの整備
- ☆校舎及び附帯施設等整備【7,597,514(うち補正 3,747,344)】(教委)【再掲】
内外壁の改修、トイレの洋式化・乾式化等
- ☆特別教室空調整備【693,417(うち補正 674,306)】(教委)【再掲】
小・中学校特別教室空調整備事業のPFI事業者選定及び設計・施工
- ・市営住宅の建替・改善等【9,781,199(うち補正 2,912,076)】(住都)
老朽化した市営住宅の建替や安全性の確保等を図るための改善
- ・公園の再整備等【799,656(うち補正 152,200)】(住都)
大規模な公園や市民に身近な公園の再整備等

コロナ禍における事業者等への支援

- ★感染症対応シティ促進事業【1,740,000(補正)】(経観文)
市民が立ち寄る来店型の施設等を対象に、感染症対策強化の取組みを支援
- ☆商工金融資金の融資枠の拡充【248,159,000】(経観文)
中小企業への長期・低利融資を行うための十分な融資枠・新規貸付枠を確保
- ★全市版プレミアム付商品券事業【389,000(補正)】(経観文)
福岡商工会議所等が取り組む電子版プレミアム付商品券の発行を支援
- ☆商店街プレミアム付商品券事業【324,430(補正)】(経観文)
商店街が取り組むプレミアム付商品券の発行を支援
- ・地域を支える商店街支援事業【20,400(補正)】(経観文)
商店街が取り組む新型コロナウイルス感染症対策を支援
- ★漁業者緊急支援事業【22,950(補正)】(農水)
漁業活動に必要な経費の一部(漁船保険に係る保険料相当額の2分の1)を助成することで、市内漁業者を支援
- ★花き農家緊急支援事業【9,218(補正)】(農水)
市内産の花きを買上げ、市内小・中学校、特別支援学校の今春卒業予定の学年のクラスにお祝いとして贈ることで、市内花き農家を支援



DX(デジタルトランスフォーメーション)へのチャレンジ

※DX(デジタルトランスフォーメーション)…データやデジタル技術を活用したビジネスモデル等の変革

- ☆行政のDX推進【90,718】(総企)
行政手続きや市民サービスのデジタル化、オンライン化などの取組みを全庁的に推進
- ★公民館Wi-Fi環境整備事業【50,885(補正)】(市民)
ポストコロナにおける地域のデジタル化促進拠点として活用するため、公民館にWi-Fi環境を整備
- ★地域のデジタル化支援事業【8,000】(市民)
公民館においてオンライン申請相談会等を実施
- ★母子保健オンライン相談等事業【4,997】(こども)【再掲】
保健師等の家庭訪問や親子教室等のセミナーの一部を、オンラインで実施
- ☆GIGAスクールの推進【1,156,372(うち補正 136,813)】(教委)【再掲】
児童生徒1人1台端末の運用・管理、ICT支援員、ヘルプデスクの設置等



- ★中小企業等のDX促進モデル事業【82,820(補正)】(経観文)
市内中小企業等のDXを促進するため、モデルケースとなり得る取組みを支援
- ★企業間取引デジタル化推進事業【7,810】(経観文)
中小企業の企業間取引のデジタル化を支援するため、セミナーの開催やITコーディネーター等の派遣
- ★祭り運営のデジタル化促進事業【8,992】(経観文)
祭り運営のデジタル化による市民サービスや安全性の向上と運営のスマート化
- ★アグリDXプロジェクト(EC活用推進)【2,173】(農水)
ECサイトを先駆的に活用する農家及びその活用方法をPRし、他の農家の参入を促進
- ・ICT・ロボット等導入支援事業【59,653(補正)】(保福)
障がい福祉サービス事業所等におけるICTやロボットの導入経費を助成

国際金融機能誘致の推進

★国際金融機能誘致推進事業【12,126】(経観文)

国際金融に特化したワンストップサポート窓口の運営やFinTech事業者等への支援等を実施

※FinTech…キャッシュレス決済等、ICT技術を活用した革新的な金融サービス



★外資系金融機関等の誘致推進【15,712】(経観文)

国際金融機能を誘致するため、外資系金融機関等を対象としたプロモーション等を実施

★国際金融機能の誘致に向けたフォーラム開催【18,000】(経観文)

国際金融機能の誘致に向けた機運醸成のため、地場企業向けのフォーラム等を開催

☆在住外国人の生活環境整備事業【37,108】(総企)

転入手続時の生活ガイダンス、地域の国際交流、区役所等の多言語対応(電話通訳等)、課題調査等

★外国人支援ボランティアバンク【4,532】(総企)【再掲】

ボランティアによるきめ細やかな個別支援や災害ボランティアの育成などを実施

世界と繋がるスタートアップの街

☆スタートアップ・エコシステム拠点都市形成の推進【9,985】(経観文)

内閣府の「スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」を活用し、ユニコーン企業創出を支援

※ユニコーン…創業10年以内で、企業価値評価額が高い未上場のスタートアップ企業

・特定創業支援事業利用者への支援【34,667(補正)】(経観文)

国の特定創業支援等事業を活用し、登録免許税半額軽減を受けた者に対し市独自で残りの半額相当額を支援

★外部人材によるIPO(新規上場)成長支援プログラム【5,700】(経観文)

新規上場を目指すスタートアップ企業に対し、経営課題の解決等について経験豊富なプロ人材の活用を支援

☆エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進【84,295】(経観文)

エンジニアの交流拠点「エンジニアカフェ」の運営及び、デジタル人材育成の実施

・スタートアップ支援施設の運営【109,146】(経観文)

スタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」を運営

・グローバルスタートアップ推進事業【86,493】(総企)

海外拠点都市との連携や国際イベントの開催・出展等を通じたスタートアップの海外展開支援

新しい生活様式へのチャレンジ

・オンライン採用・就職活動支援事業【9,948(補正)】(経観文)

経済団体等と連携し、中小企業等のオンラインでの採用・就職活動を支援

★次世代商店街支援事業【22,261(補正)】(経観文)

商店街が取り組む「新しい生活様式」を踏まえた商店街活動を支援

★商店街開業時感染対策支援事業【10,200(補正)】(経観文)

商店街の空き店舗への出店に際し、感染症対策に係る必要経費を支援

★宿泊施設の高付加価値化等支援事業【283,925(補正)】(経観文)

非対面化・非接触化など、宿泊施設が取り組むポストコロナを見据えた、施設・サービスの高付加価値化や生産性向上を支援

☆観光案内機能の強化事業【16,550】(経観文)

デジタルを活用した非対面・非接触によるリモート観光案内の実施

★音楽都市振興事業【13,256】(経観文)

音楽業界と連携し、音楽が溢れるまちづくりに向けた取組みを実施

・文化・エンターテインメントのハイブリッド開催支援【38,000(補正)】(経観文)

リアルとオンラインを併用したイベント主催者に対し、安全対策やオンライン配信に係る費用を助成

★宅配ボックス普及促進事業【139,725(補正)】(環境)

宅配受取の非接触化と再配達に係るCO2削減に資する、住宅への宅配ボックス購入費助成を実施

観光・MICEで賑わい、潤う街

★福岡型ワーケーション推進事業【114,100(補正)】(経観文)

ワーク環境と観光的魅力を組み合わせたワーケーションプランの造成・販売を支援し、旅行需要を喚起

★修学旅行等による都市圏周遊の推進【88,080】(経観文)

都市圏の自治体等と連携し修学旅行等の受入れに取り組み、観光産業を活性化

☆博多旧市街プロジェクト【20,809】(経観文)

観光客等の認知度・回遊性向上を図るため、博多旧市街フェスティバルの拡充やブランディングを実施

・国内を代表するMICE拠点の形成【1,404,570】(経観文)

マリメッセ福岡B館等のPFI事業費や、歩行者用上屋整備等を実施

・世界水泳選手権福岡大会等の開催準備【4,017,724】(市民)

令和4年の大会に向けた開催準備、関係機関との協議、気運醸成等



※令和2年度2月補正予算案については、(補正)もしくは(うち補正)と記載

★:新規 ☆:拡充 (単位:千円)

未来に向けて生まれかわるまち

FUKUOKA Smart EAST

- ・九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり【791,200】(住都)
箱崎キャンパス跡地等の先進的なまちづくりに向けた検討
及び公募に伴う調整、都市計画道路の整備等



- ★貝塚駅周辺土地区画整理事業【157,034】(住都)
箱崎キャンパス跡地等における土地区画整理事業に関する調査・設計等

- ・天神通線整備【3,048,000(うち補正 1,300,000)】(道下)
天神1丁目北ブロックのまちづくりに合わせた天神通線の整備



- ・天神ビッグバンの奥座敷～情緒ある路地空間の創出～
【83,721】(住都・道下)
天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)の魅力づくりに向けた石畳による道路整備等

- ・観光客等の移動円滑化施策の推進【59,315】(交通)
地下鉄駅昇降機の整備に要する経費を補助

- ・歴史・文化に配慮した道づくり【172,300】(道下)
「博多旧市街」エリアの主な通りを歴史・文化に配慮した
趣のある道路として再整備



市街化調整区域の活性化 ～Work Hard, Play More Hard～ (よく働き、より遊ぶ)

Fukuoka East & West Coast プロジェクト

- ☆海辺を活かした観光振興事業【65,097】(経観文)
志賀島・北崎エリアにおける観光周遊コースの形成に向けた、サイクルツーリズム
の促進や滞在型プランの拡充、回遊を促進する立ち寄りスポットづくりの検討

- ・海辺を活かした観光振興に向けた道づくり【147,750】(道下)
海辺の観光周遊コースの形成に向けた、
豊かな自然環境と調和した道づくり(北崎・志賀島地区)

- ☆海づり公園を活用した北崎地区活性化事業【11,300】(農水)
海づり公園施設再配置のための基本設計等の実施



- ☆油山市民の森等リニューアル事業【79,292】(農水)
油山市民の森及び油山牧場のリニューアルに向けた事業者公募の実施
及びトイレ等インフラ工事

- ・農山漁村地域など市街化調整区域の活性化【7,400】(総企)
活性化の新たな担い手となる民間事業者の誘致や地域主体の取組み支援等

- ・市街化調整区域における定住化対策【8,200】(住都)
市街化調整区域における定住化促進に向けた地域の取組みを支援

脱炭素社会へのチャレンジ

- ★宅配ボックス普及促進事業【139,725(補正)】(環境)【再掲】
宅配受取の非接触化と再配達に係るCO2削減に資する、住宅への
宅配ボックス購入費助成を実施

- ・地球温暖化対策実行計画の改定【14,690】(環境)
脱炭素社会実現に向けた温暖化対策を総合的に推進するため、計画改定を実施

- ★再生可能エネルギー由来電力の利用促進【3,662】(環境)
再生可能エネルギー由来電力の利用の啓発、機会の提供

- ☆次世代自動車の普及促進【29,461】(環境)
電気自動車・燃料電池自動車購入等に対する助成、
次世代自動車展示・試乗会の開催等



- ☆行政のDX推進【90,718】(総企)【再掲】
行政手続きや市民サービスのデジタル化、オンライン化などの取組みを
全庁的に推進

- ★地域のデジタル化支援事業【8,000】(市民)【再掲】
公民館においてオンライン申請相談会等を実施

- ☆地域産材利用促進事業【25,116】(農水)
公共建築物等への地域産木材の利用促進等



- ・博多湾の環境保全創造事業【27,423】(港空)
CO2を吸収するアマモ場づくりや「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット
制度」の運用により、企業等と連携して博多湾の環境保全を推進

災害に強いまちづくり

☆災害対策本部機能の充実・強化【1,031,208】(市民・財政)

災害対策本部機能を、本庁舎15階に移転するとともに、迅速な情報伝達や災害対応に必要なICT機器の導入・活動スペースの整備等を実施

★消防ヘリコプター更新整備【債務負担】(消防)

消防ヘリコプター「ゆりかもめ」の更新整備に着手



・災害時の電力確保【277,725】(市民・財政)

公民館等へ電気自動車等から電力を供給するための設備の導入や本庁舎及び区役所の停電対策等

☆博多区庁舎耐震対策事業【5,878,456】(市民・財政・住都)

新庁舎の整備等に係る工事費等(令和4年5月供用開始)

・中央区における消防署所の再編整備【312,898】(消防)

新平尾出張所建設工事(令和4年度供用開始)、現平尾出張所解体設計等

☆緊急輸送道路橋梁耐震補強【633,500(うち補正 272,500)】(道下)

緊急輸送道路における橋長15m以上の橋りょうの耐震補強工事等

・防災重点ため池対策事業【192,500】(農水)

防災重点ため池の安全対策のための調査や工事



★大容量送水管整備事業【316,603】(水道)

災害時の貯留機能を有した大容量送水管の新設事業を実施

交通・人流・物流機能の強化

・福岡空港関連事業【2,328,339】(港空等)

福岡空港整備事業に対する地方負担や、空港周辺地域の生活道路改善及びまちづくりの検討等

・港湾機能の強化【4,863,084】(港空)

アイランドシティにおけるコンテナヤードの整備や船舶航行の安全性を確保するための浅所エリアの浚渫等

・地下鉄七隈線延伸事業【11,429,000】(交通)

地下鉄七隈線の延伸(天神南駅～博多駅)に係る工事等を推進

・西鉄天神大牟田線連続立体交差事業【784,762(うち補正 100,000)】(道下)

西鉄天神大牟田線雑餉隈駅付近の連続立体交差化



農林水産業の振興

★漁業者緊急支援事業【22,950(補正)】(農水)【再掲】

漁業活動に必要な経費の一部(漁船保険に係る保険料相当額の2分の1)を助成することで、市内漁業者を支援

★花き農家緊急支援事業【9,218(補正)】(農水)【再掲】

市内産の花きを買い上げ、市内小・中学校、特別支援学校の今春卒業予定の学年のクラスにお祝いとして贈ることで、市内花き農家を支援

★アグリDXプロジェクト(EC活用推進)【2,173】(農水)【再掲】

ECサイトを先駆的に活用する農家及び活用方法をPRし、他の農家の参入を促進

・イノシシ被害対策事業【26,959】(農水)

被害防止のため、生息調査、ICT・IoTを活用した捕獲活動、市民啓発等を実施

☆鳥獣害防止総合対策事業【3,932】(農水)

農作物被害防止のための捕獲活動経費の助成及びカラス被害防止のための追い払い機器貸し出し、市民啓発等

☆鮮魚市場の機能更新・向上事業【469,570】(農水)

機能更新に係る市場施設の設計・工事や、活性化等に向けた市場関係者等との協議・調整

憩い・潤いの空間の充実

・動植物園再生事業【1,744,957】(住都)

動植物園の魅力向上を図るための、ゾウ舎の拡張整備等

・一人一花運動【114,393】(住都)【再掲】

花による共創のまちづくりとして、市民や企業一人ひとりが花や緑を育てる取組みを支援



コミュニティ施設の整備・充実

・早良南地域交流センター整備事業【1,186,802(うち補正 963,000)】(市民・教委)

早良南地域交流センター整備に係る工事費等(令和3年11月供用開始)

・南市民センター大規模改修工事【2,054,608】(市民・経観文・こども)

南市民センター大規模改修に係る工事等

★公民館Wi-Fi環境整備事業【50,885(補正)】(市民)【再掲】

ポストコロナにおける地域のデジタル化促進拠点として活用するため、公民館にWi-Fi環境を整備

Ⅱ 将来にわたり持続可能な財政運営の推進

1 財源の確保

市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、重要施策の推進や新たな課題への対応に必要な財源を確保するため、現在策定中の「財政運営プラン（令和3年6月策定予定）」の取組みの方向性を踏まえ、「歳入の積極的な確保」や「行政運営の効率化」などの取組みを進めることとし、令和3年度当初予算においては約108億円の財源を確保しました。

財源確保総額 108億円

(単位：億円)

行政運営の効率化 27

- ① 企業会計・特別会計における見直し 18
 - モーターボート競走事業収益の確保による一般会計への繰出金の増 15
など
- ② 外郭団体等の見直し 4
 - 学校給食公社委託料の見直し 4
- ③ その他行政運営の効率化 5
 - 学校プール開放事業実施方法の見直し 1
など

歳入の積極的な確保 54

- ① 収入・収納率の向上 8
 - 宿泊税の課税 7
など
- ② その他歳入の確保 46
 - 未利用地等の売却・貸付 40
など

その他公共施設の見直し 等 27

- 土地開発公社の解散による残余財産の帰属 19
- 道路直営灯のLED化による電気料削減 1
など

2 アセットマネジメントの推進

市民が市有施設を安全・安心に利用できるよう維持し、良質な公共サービスを持続的に提供していくため、「福岡市アセットマネジメント基本方針」に基づき、**財政負担の軽減・平準化を図りつつ、施設の状況等に応じた適切な維持管理を推進**します。

アセットマネジメントの推進にあたっては、計画的に施設の改修・修繕等を実施することで、安全性や利用者満足度を確保しつつ、施設を長寿命化するなど、長期的な観点から施設に要する費用の縮減を図ります。

●アセットマネジメント事業費 ※工事請負費、設計委託料等（2月補正予算における前倒しを含む）

（単位：億円）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	差引増減 (令和3年度－令和2年度)
一般会計	486	543	600	633	33 (6%)
全会計	874	1,026	1,099	1,184	85 (8%)

※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある

【主な取組み】（一般会計）

（単位：億円）

①施設の長寿命化・機能維持

施設を目標耐用年数まで使用するために必要な設備などの改修や、施設の性能を継続的に維持するために行う修繕等

- ・ **学校の校舎等の大規模改造【37.2】（教委）**
老朽化した校舎等の大規模改造
- ・ **市民センター施設整備【17.3】（市民）**
南市民センターの大規模改修及び音楽・演劇練習場、子どもプラザとの複合化
- ・ **M I C E 施設の修繕【16.2】（経済）**
マリンメッセ福岡 A 館の大規模修繕等
- ・ **市営住宅の長寿命化【26.5】（住都）**
市営住宅ストック総合活用計画に基づく住宅の外壁や屋上防水の改修
- ・ **スポーツ施設改修【8.6】（市民）**
総合西市民プールの受変電設備の改修等
- ・ **区役所庁舎改修【0.8】（市民）**
区役所庁舎の屋上防水改修等
- ・ **道路大規模修繕【11.9】（道下）**
道路アセットマネジメント基本方針に基づいて道路の健全性を保つための修繕
- ・ **橋梁の長寿命化【5.1】（道下）**
橋梁長寿命化修繕計画に基づいて橋梁の健全性を保つための修繕・点検

②施設の機能充実・向上

耐震改修やバリアフリー化など、社会情勢や市民ニーズに応じた機能充実及び安全性向上のために行う改修等

- ・ **学校校舎等の施設整備【82.9】（教委）**
学校の便所改造（洋式化）や特別教室の空調設備整備、外柵改良等
- ・ **市営住宅の改善【20.6】（住都）**
耐震改修など、老朽化した市営住宅の安全性の確保を図るための改善

③施設の建替・更新

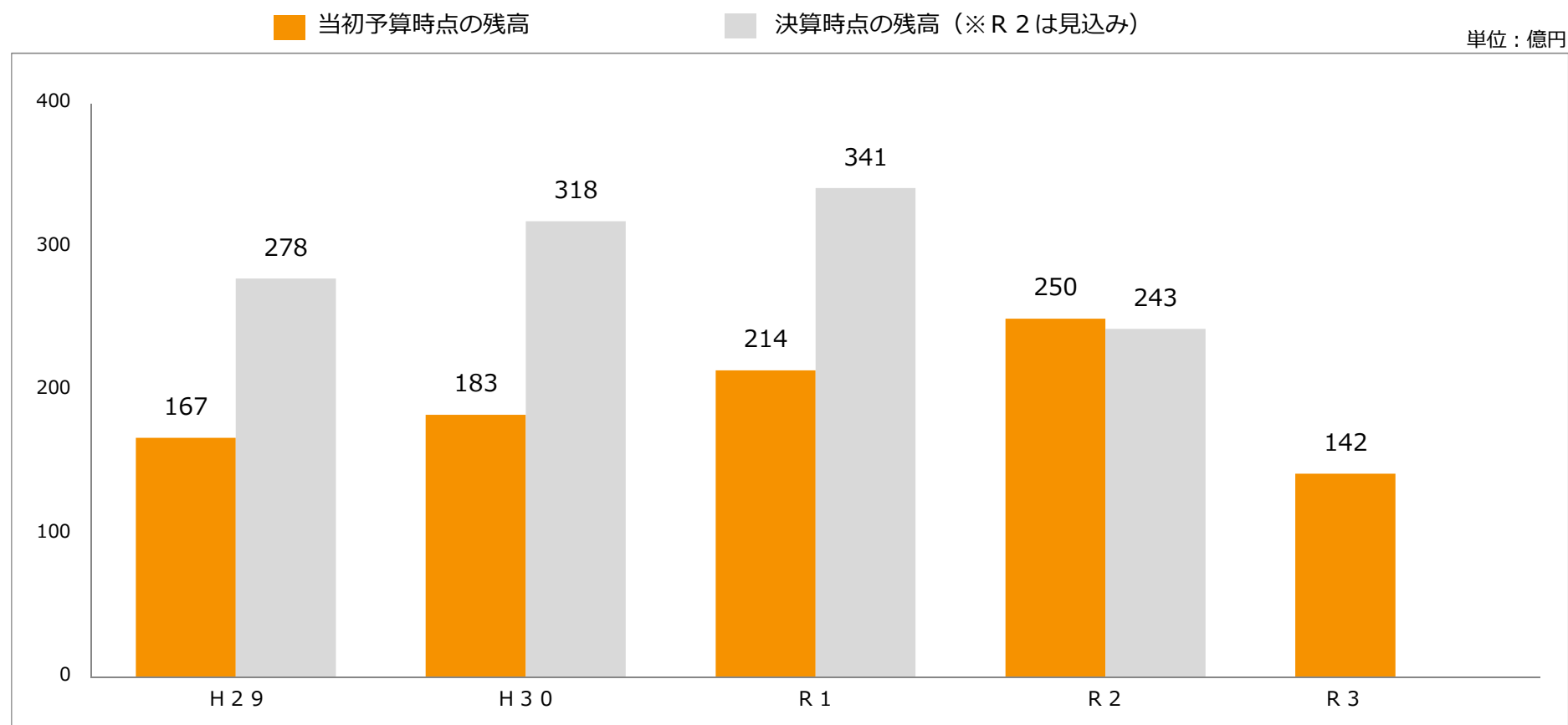
施設の設置目的や役割を十分果たすために必要な建替・更新

- ・ **市営住宅の建替【53.6】（住都）**
老朽化した市営住宅の建替（城浜住宅建設着手など）
- ・ **区庁舎の建替【52.2】（市民・財政）**
耐震性能が不足している現博多区庁舎の建替による耐震対策
- ・ **公民館改築【10.8】（市民）**
100坪館から150坪館への建替（柏原公民館など）
- ・ **公園再整備【7.1】（住都）**
老朽度調査等を行い策定した公園再整備計画に基づく公園の整備

3 財政調整基金の活用と残高の確保

- ・新型コロナウイルス感染症の影響等により市の財政状況が厳しい中であっても、真に必要な施策・事業を推進するため、令和3年度当初予算においては財政調整基金を積極的に活用します（**R3：101億円**）。
（参考：過去の当初予算編成時の活用額 R2：55億円、R元：56億円、H30：57億円、H29：58億円）

＜財政調整基金の残高の推移＞



4 市債残高の状況

(1) 市債発行額の見込み

① 市債発行額（一般会計）

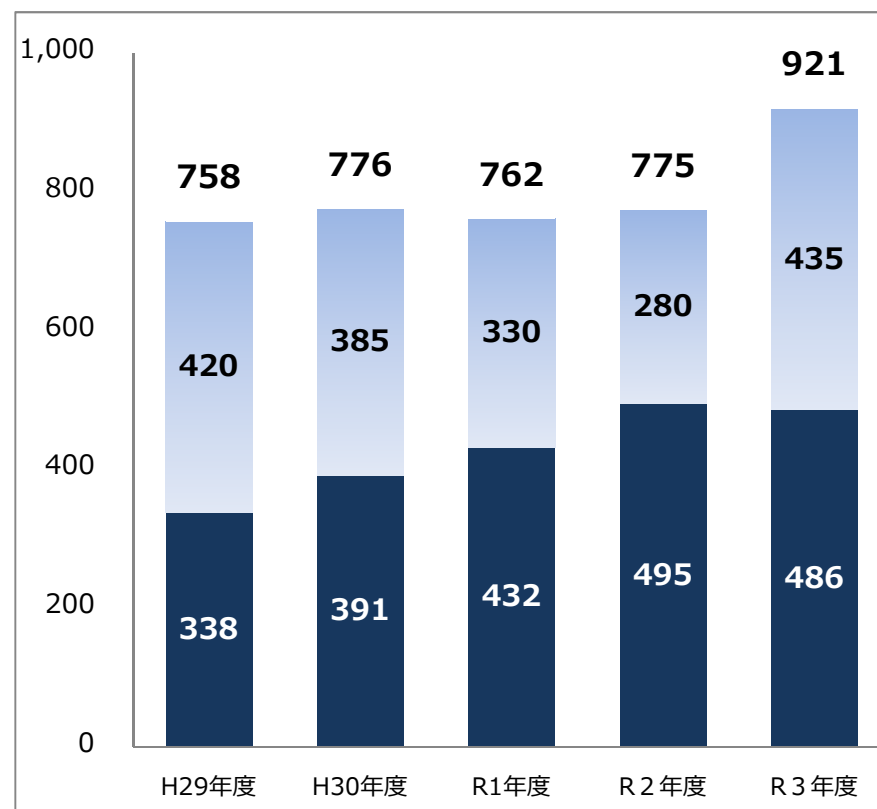
- 臨時財政対策債の大幅増（+155億円）に伴い、市債発行額は増加（+146億円）

	令和2年度	令和3年度	増減額
市債発行額	775億円	921億円	146 億円
うち臨時財政対策債	280億円	435億円	155 億円

② 市債発行額（一般会計）の推移

市債発行額の推移（一般会計・当初予算額）

■ その他の市債 ■ 臨時財政対策債
(単位：億円)



(2) 市債残高の見込み

① 令和3年度末市債残高の状況

- ・ 一般会計は令和2年度末と比べ増加（+30億円）
- ・ 全会計では令和2年度末と比べ縮減（▲172億円）
- ・ 全会計でピーク時より5,891億円縮減（▲22.8%）

	H16年度 年度末残高	R 2 年度	R 3 年度			差引き (B) - (A)
		年度末残高 (A)	新規発行	市債償還	年度末残高 (B)	
一般会計	1兆2,928億円	1兆1,878億円	921億円	▲891億円	1兆1,908億円	30億円
全会計	2兆5,882億円	2兆163億円	1,391億円	▲1,563億円	1兆9,991億円	▲172億円

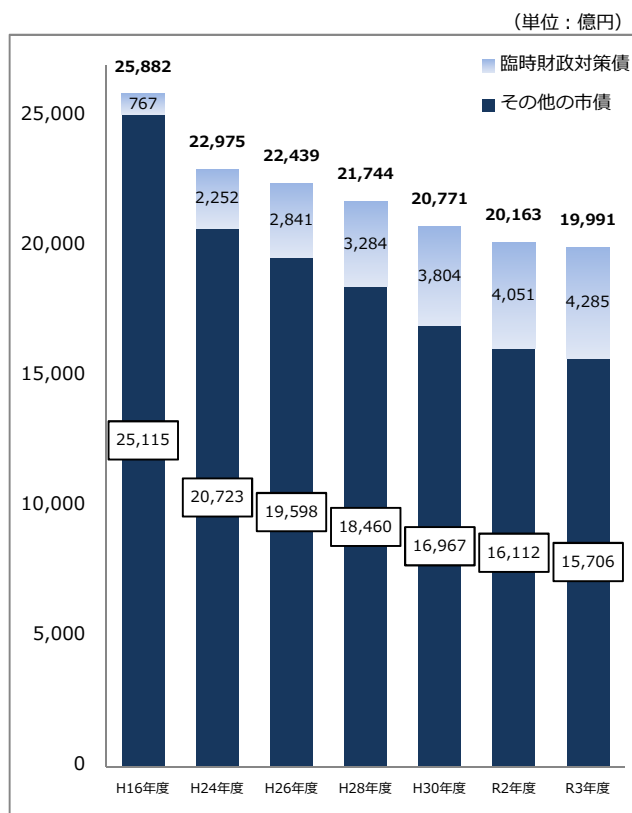
※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある。

※市債残高は、満期一括積立金（満期一括償還のために償還財源を市債管理基金に積み立てたもの）を除く

②市債残高の推移

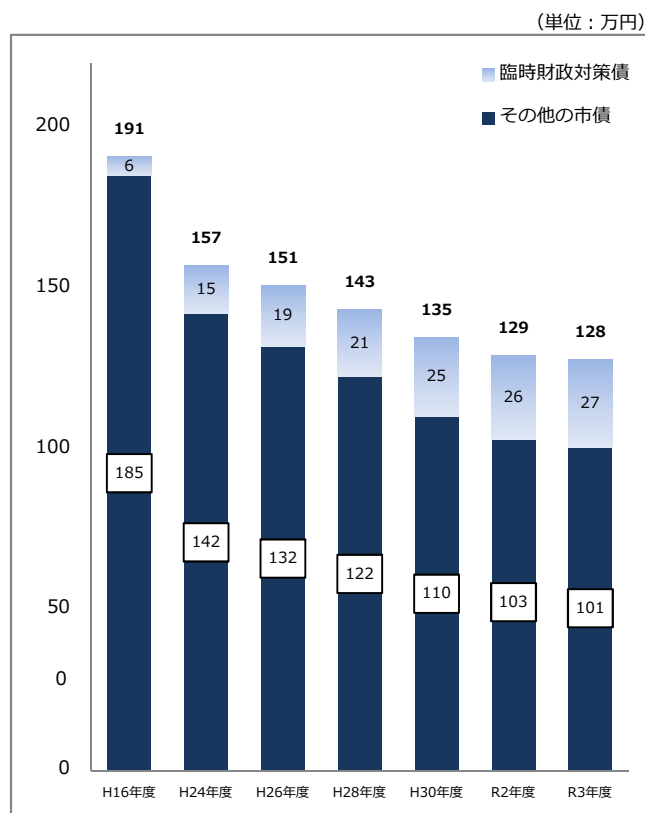
令和2年度末の全会計市債残高見込額から、国が償還額を全額地方交付税措置する臨時財政対策債の残高見込額を除いた額は、そのピーク時の平成16年度末から9,409億円減少し、1兆5,706億円となります。また、その市民一人当たり市債残高見込額は、平成16年度末から約84万円減少し、約101万円となります。

市債残高の推移（全会計）



※平成30年度までは決算ベース、令和2年度は2月補正後(繰越明許費を反映していない)、令和3年度は当初予算ベース
 ※満期一括積立金を除く

市民一人当たり市債残高の推移（全会計）

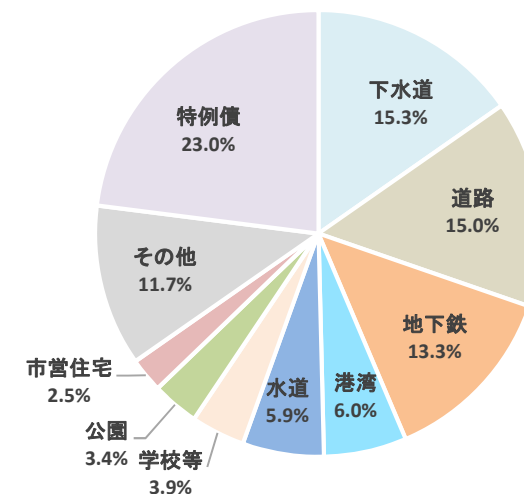


※平成30年度までは決算ベース、令和2年度は2月補正後(繰越明許費を反映していない)、令和3年度は当初予算ベース
 ※平成30年度までは各年度末現在、令和2年度、3年度は令和2年12月末現在の登録人口
 ※満期一括積立金を除く

令和3年度末残高の見込み

- 一般会計
約 1兆1,908億円 (+30億円)
 - 特別会計
約 1,435億円 (▲86億円)
 - 企業会計
約 6,648億円 (▲116億円)
 - ◇ 全会計
約 1兆9,991億円 (▲172億円)
- ※ () は令和2年度末残高見込みとの差
 ※ 満期一括積立金を除く

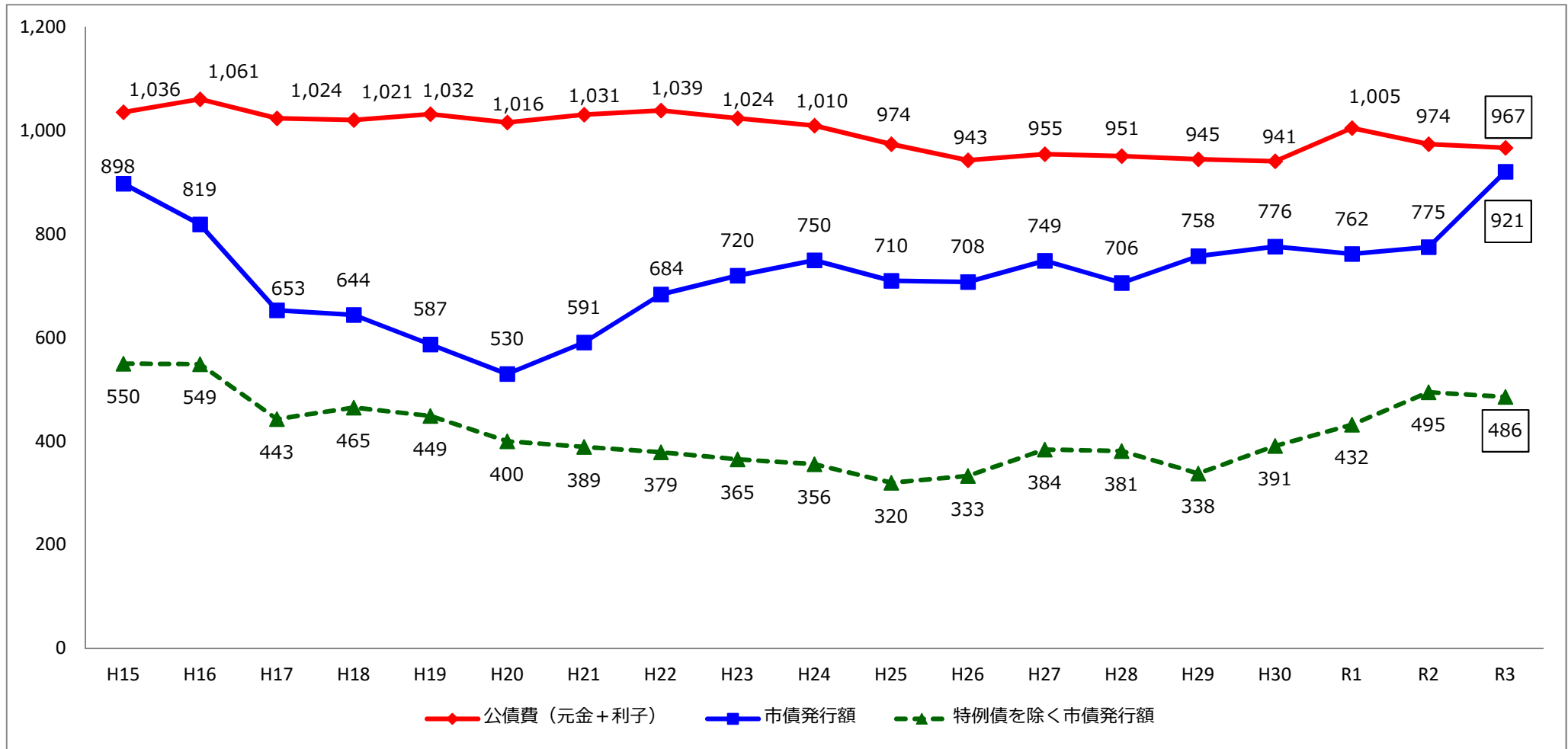
市債残高の割合(令和3年度末見込)



<参考> 市債発行額と公債費の状況（一般会計）

～市債発行額と公債費の推移（当初予算額）～

（単位：億円）



※特例債：後年度に地方交付税措置される特例的に発行された市債（臨時財政対策債、減税補てん債（～H18））

Ⅲ 予算案の姿（概要）

※ 増減は対令和2年度当初予算比

※ （ ）内は令和3年度当初予算ベース

※ 〔14ヵ月〕内は令和2年度2月補正と3年度当初予算の合算ベース

1 予算規模

- 一般会計は、商工金融資金の融資枠拡大に伴う経済観光文化費の増加や、就学前児童の教育・保育に係る給付費及び障がい児・者の施設給付費等の社会保障関係費の増加などにより、
過去最大規模　＋18.8%
- 全会計合計は、前年度を上回る　＋11.0%

※以下、詳細は別添資料「令和3年度当初予算案計数資料」参照。億円未満は四捨五入しており合計が一致しない場合がある。

区 分	令和2年度	令和3年度	増減額	伸率(%)
一般会計	8,875億円	1兆545億円	1,671 億円	18.8
特別会計	7,342億円	7,712億円	370 億円	5.0
企業会計	3,212億円	3,307億円	96 億円	3.0
合 計	1兆9,428億円	2兆1,564億円	2,136 億円	11.0

2 予算案のポイント

○一般会計

＜歳入＞

- ・ 市税収入は、厳しい経済状況の影響等による個人市民税や法人市民税の減収等に伴い2年度を大幅に下回る
- ・ 臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は、市税収入の減収等に伴い大幅に増加
- ・ 市債は、臨時財政対策債の増加により発行額の大幅な増加

＜歳出＞

- ・ 3年度当初予算を2年度2月補正予算と一体的に編成し、コロナ禍における感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた取組みを強力的に推進
- ・ 新たな時代への変革期にあつてこそ「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を踏まえ、「とりもどせ元気」をスローガンに、今だからできる様々なチャレンジに注力
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策〔14ヵ月予算 2,800億円〕の取組み
- ・ 地域経済を下支えする公共事業費〔14ヵ月予算 983億円〕の確保
- ・ 「新しい生活様式」も踏まえ、感染症に強く、国際競争力の高いまちづくりにチャレンジ
- ・ 扶助費に医療・介護関連の繰出金・負担金を加えた社会保障関係費は引き続き増加（+41億円）

3 一般会計の状況

(1) 一般財源の状況（概要）

項 目	令和2年度	令和3年度	増減額	伸率（%）
市税	3,397億円	3,166億円	▲ 231 億円	▲ 6.8
個人市民税	1,309億円	1,233億円	▲ 76 億円	▲ 5.8
法人市民税	362億円	238億円	▲ 124 億円	▲ 34.4
固定資産税	1,235億円	1,220億円	▲ 15 億円	▲ 1.2
地方譲与税	66億円	71億円	4 億円	6.3
交付金	489億円	482億円	▲ 7 億円	▲ 1.3
法人事業税交付金	41億円	44億円	3 億円	6.9
地方消費税交付金	374億円	365億円	▲ 9 億円	▲ 2.5
地方特例交付金	15億円	32億円	18 億円	119.8
地方交付税等	590億円	750億円	160 億円	27.1
地方交付税	310億円	315億円	5 億円	1.6
臨時財政対策債	280億円	435億円	155 億円	55.4
その他	121億円	181億円	60 億円	49.4
合 計	4,678億円	4,681億円	3 億円	0.1

※ 平成26年度及び令和元年度の消費税率引き上げによる増収分＜188億円＞は社会保障関係費＜2,925億円＞に充当

森林環境譲与税＜1.4億円＞は森林整備及びその促進に関する費用（新規・拡充分）＜1.4億円＞に充当

(1) 一般財源の状況（ポイント）

＜総 額＞ 4,681億円（+3億円）

＜市 税＞ 3,166億円（▲231億円）

- ・ 個人市民税は給与収入の減等により、▲76億円（▲5.8%）
- ・ 法人市民税は企業収益の減等により、▲124億円（▲34.4%）
- ・ 固定資産税は新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における中小事業者等に対する軽減措置の影響等により、▲15億円（▲1.2%）
- ・ 宿泊税は宿泊者数の減等により、▲11億円（▲59.6%）

＜地方特例交付金＞ 32億円（+18億円）

- ・ 「新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金」の創設 15億円（皆増）

＜地方交付税等＞ 750億円（+160億円）

- ・ 市税収入の減少等に伴い、地方交付税等は大幅に増加
（地方交付税+5億円、臨時財政対策債+155億円）

＜その他＞

- ・ 財政調整基金を積極的に活用（+46億円）

(2) 性質別歳出の状況（概要）

※ 14ヵ月予算は令和2年度2月補正と3年度当初予算の合算

※ 増減額はそれぞれ令和2年度当初予算からの増減

項 目	令和2年度	令和3年度	増減額	14ヵ月予算	増減額
人件費	1,483億円	1,483億円	0 億円	1,483億円	▲ 1 億円
扶助費	2,334億円	2,371億円	37 億円	2,396億円	63 億円
公債費	974億円	967億円	▲ 7 億円	974億円	0 億円
義務的経費 計	4,791億円	4,821億円	30 億円	4,853億円	62 億円
物件費	950億円	955億円	5 億円	1,102億円	152 億円
補助費等	594億円	615億円	21 億円	652億円	58 億円
普通建設事業費	948億円	825億円	▲ 123 億円	983億円	35 億円
補助事業費	505億円	341億円	▲ 164 億円	473億円	▲ 32 億円
単独事業費	443億円	484億円	41 億円	510億円	67 億円
維持補修費	115億円	96億円	▲ 19 億円	96億円	▲ 19 億円
貸付金	793億円	2,560億円	1,767 億円	2,560億円	1,767 億円
繰出金	609億円	609億円	0 億円	607億円	▲ 2 億円
その他	74億円	65億円	▲ 9 億円	112億円	38 億円
合 計	8,875億円	1兆545億円	1,671 億円	1兆965億円	2,091 億円

(2) 性質別歳出の状況（主な増減）

＜義務的経費＞ 4,821億円（+30億円）

- ・ 人件費は、職員給（会計年度任用職員除く）（+4億円）、職員手当（▲4億円）などにより2年度と同規模
- ・ 扶助費は、障がい児・者施設給付費等（+21億円）、就学前児童の教育・保育に係る給付費（+11億円）などにより、+37億円
- ・ 公債費は、元金の減（▲3億円）、利子の減（▲5億円）により、▲7億円

＜その他＞

- ・ 補助費等は、新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給等（+44億円）、企業立地促進制度（▲15億円）、国勢調査（▲6億円）などにより、+21億円
- ・ 普通建設事業費は、博多区庁舎耐震対策事業〔14ヵ月+51億円〕、街路整備〔14ヵ月+28億円〕、校舎及び附帯施設等整備〔14ヵ月+19億円〕、道路整備〔14ヵ月+5億円〕、臨海工場整備〔14ヵ月▲23億円〕、学校規模適正化〔14ヵ月▲22億円〕、港湾整備〔14ヵ月▲20億円〕などにより、〔14ヵ月+35億円〕
- ・ 貸付金は、商工金融資金預託金（+1,780億円）などにより、+1,767億円

(3) 目的別歳出の状況（概要）

※ 14ヵ月予算は令和2年度2月補正と3年度当初予算の合算

※ 増減額はそれぞれ令和2年度当初予算からの増減

項 目	令和2年度	令和3年度	増減額	14ヵ月予算	増減額
総 務 費	581億円	649億円	68 億円	700億円	118 億円
こども育成費	1,301億円	1,248億円	▲ 53 億円	1,281億円	▲ 19 億円
保健福祉費	2,128億円	2,163億円	35 億円	2,326億円	199 億円
環 境 費	331億円	267億円	▲ 63 億円	266億円	▲ 64 億円
経済観光文化費	901億円	2,696億円	1,796 億円	2,727億円	1,826 億円
土 木 費	418億円	360億円	▲ 58 億円	414億円	▲ 4 億円
都市計画費	536億円	491億円	▲ 45 億円	520億円	▲ 16 億円
港湾空港費	127億円	79億円	▲ 47 億円	79億円	▲ 47 億円
消 防 費	147億円	142億円	▲ 5 億円	141億円	▲ 6 億円
教 育 費	1,322億円	1,334億円	12 億円	1,383億円	61 億円
公 債 費	980億円	973億円	▲ 7 億円	981億円	0 億円
そ の 他	103億円	143億円	40 億円	146億円	43 億円
合 計	8,875億円	1兆545億円	1,671 億円	1兆965億円	2,091 億円

(3) 目的別歳出の状況（主な増減）

<総務費>

博多区庁舎耐震対策事業（+52億円）、市民センター施設整備（+19億円）

<こども育成費>

留守家庭こども会等を教育費へ移管（▲48億円）、

新型コロナウイルス感染症対策【市民生活の支援】〔14ヵ月+15億円〕、

就学前児童の教育・保育に係る給付費（+11億円）、子ども医療費通院拡大（+8億円）

<保健福祉費>

新型コロナウイルス感染症対策【検査等体制の充実】〔14ヵ月+148億円〕、

新型コロナウイルス感染症対策【市民生活の支援】〔14ヵ月+7億円〕、

障がい者施設介護給付費等（+13億円）、医療・介護関連の繰出金・負担金（+4億円）

<経済観光文化費>

新型コロナウイルス感染症対策【事業者の支援】〔14ヵ月+1,859億円〕、

企業立地促進制度（▲29億円）、宿泊税充当事業（▲9億円）

<教 育 費>

留守家庭こども会等をこども育成費から移管（+45億円）、

新型コロナウイルス感染症対策【市民生活の支援】〔14ヵ月+31億円〕

4 特別会計の状況（概要）

項 目	令和2年度	令和3年度	増減額	伸率（％）
後 期 高 齢 者 医 療	194億円	198億円	4 億円	1.9
国 民 健 康 保 険 事 業	1,404億円	1,418億円	14 億円	1.0
介 護 保 険 事 業	1,129億円	1,138億円	8 億円	0.7
中 央 卸 売 市 場	59億円	65億円	6 億円	9.9
港 湾 整 備 事 業	164億円	227億円	63 億円	38.5
伊 都 土 地 区 画 整 理 事 業	34億円	－	▲ 34 億円	皆減
貝 塚 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	－	3億円	3 億円	皆増
駐 車 場	6億円	19億円	13 億円	222.3
市 債 管 理	4,294億円	4,589億円	295 億円	6.9
そ の 他	58億円	56億円	▲ 2 億円	▲ 3.9
特別会計 合 計	7,342億円	7,712億円	370 億円	5.0

4 特別会計の状況（主な増減）

＜国民健康保険事業＞	保険給付費（+23億円）、国民健康保険事業費納付金（▲7億円）
＜介護保険事業＞	保険給付費（+5億円）、地域支援事業費（+1億円）
＜中央卸売市場＞	鮮魚市場の機能更新・向上（+4億円）、鮮魚市場設備改良（+4億円）
＜港湾整備事業＞	公債費元金（+67億円）
＜駐車場＞	一般会計繰出金（+12億円）
＜貝塚駅周辺土地区画整理事業＞	【会計の新設】道路等の実施設計、換地設計など

5 企業会計の状況（概要及び主な増減）

<モーターボート競走事業> 開催収益（+103億円）、建設改良費（▲9億円）

<下水道事業> 企業債償還金（+40億円）、建設改良費（+13億円）、営業収益（▲19億円）

<水道事業> 建設改良費（+31億円）、企業債償還金（+6億円）、営業収益（▲10億円）

<高速鉄道事業> 運輸収益（▲122億円）、建設改良費（+42億円）

項 目	令和2年度	令和3年度	増減額	伸率（%）
モーターボート競走事業	577億円	679億円	103 億円	17.8
下水道事業	1,148億円	1,184億円	36 億円	3.2
水道事業	645億円	675億円	30 億円	4.6
工業用水道事業	11億円	5億円	▲ 6 億円	▲ 50.5
高速鉄道事業	831億円	763億円	▲ 67 億円	▲ 8.1
企業会計 合計	3,212億円	3,307億円	96 億円	3.0